

## 26 我が街 船橋を歩く—神社仏閣(24) 龍神社(2)—

29期 仲田 元昭

龍神社本殿の見事な彫刻の美を2回にわたりご案内します。彫刻は、江戸時代後期から昭和初期にかけて活躍した行徳の後藤一派の作といわれています。

### 「本殿の見事な彫刻の匠の美」

龍神社は小さな神社ですが、本殿は見事な彫刻に埋め尽くされています。本殿の中央が前方に張り出した部分(向拝と言う写真①)の屋根の下虹梁に彫刻された龍と向拝柱上部の木鼻彫刻の獅子頭

と獏鼻の見事な匠の美をご覧ください。

この彫刻は、昭和3年、本殿建て替え時に作られた神獣(想像上の生物、龍・獅子頭・獏鼻・等)で、このような立派な本殿を建立できる豊かな村であったようです。

#### ① 本殿向拝正面虹梁の見事な龍と神獣の木鼻彫刻



#### ② 本殿南東角の木鼻彫刻(獅子頭2頭)



#### ④ 本殿南面屋根した三角部分の朱雀



#### ③ 向拝柱上部右の木鼻彫刻



#### ⑤ 向拝柱上部左の木鼻彫刻